

青い空白い雲

長野県手をつなぐ育成会ニュース
2016年2月発行
発行者 長野県手をつなぐ育成会
会長 中村 彰
〒380-0928
長野市若里7-1-7
長野県社会福祉総合センター5F
TEL 026-227-6811
Fax 026-227-6836

平成28年 年頭所感

長野県手をつなぐ育成会長 中村 彰



春の兆しに心なごむ今日この頃です。

念頭にあたり、長野県手をつなぐ育成会活動の基本的な活動視点として、恒常的に取り組む要点を改めてみなさんと共有したく思っています。

- 幼少期の教育と療育に関する「学びの場」
- 青壮年期の就労と地域の生活者として「共に過ごす場」
- 高齢期の対応と終の棲家に関する「安心の場」

長い活動の歴史を経て、障害者福祉施策は総合支援法に変わり差別禁止法等更なる光が、次の世代への灯をともしています。それぞれの年齢層の多くの問題を同時進行で、互いの問題点を共有しながら多方面への働きかけと啓蒙活動を続けて行かねばなりません。

また、活動の視野を広げ、手をつなぐ育成会活動・組織の活性化につなげていくための活動の掘り起こしも意識的に問題提起していく必要性を痛感しております。知的な問題は無くとも「生きづらさ」を抱える「発達障害」の方々との連携も視野に入れながら、長野県が先行して進めてきた地域移行への道筋、どんな障害を抱えていても、生まれた地域で、隣近所の人たちと日々安寧に暮らしていける地域社会を築いていく、そのことの先導者としての意味合いも大きいのです。是非多くの方々が会員として留まり育成会活動へのご賛同を引き続きお願いするものです。

第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会神奈川大会
併催：第50回手をつなぐ育成会関東甲信越大会

開催日：平成28年7月2日（土）～3日（日）

会 場：神奈川県民ホール・ワークピア横浜

内 容：2日 13:00 分科会 ①家族支援②権利条約③自分らしさ④意思決定
3日 9:30 大会式典 記念講演 元マラソン選手 有森裕子氏

第18回かながわ本人シンポジウム

内 容：2日 13:00 分科会 ①家族支援②権利条約③自分らしさ④意思決定
3日 9:30 大会式典 記念講演 元マラソン選手 有森裕子氏

第53回長野県手をつなぐ育成会大会 併催：同本人大会

開催日：平成28年6月19日（日）

会 場：中野市豊田公民館（本人大会の内容と会場は検討中です）

開催日：平成27年11月22日（日）

筆記者：渡辺輝子（山ノ内町手をつなぐ育成会員）

長野県手をつなぐ育成会研修会 ～東北信長野会場～

特産のリンゴも色づき、爽やかな秋晴れの中、山ノ内町文化センターを会場に開催されました。午前中は臨床心理療法士及びカウンセラーの五十嵐美智恵氏による知的障がいと自閉のマトリックスの説明、実際のカウンセリングの例を挙げながら話をさせていただきました。五十嵐氏は「家族だけでなく、学校や専門機関等の色々な方と一緒に育てていく事が大切だと力説されました。

来賓挨拶 佐々木教育長

講演 五十嵐講師



パネラーの面々

会場からの質問



IQ領域が最重度の方

- ① 理解できる範囲・視覚（認知）が狭い。日々の生活は多くの不安や生きづらさを抱えている。
- ② 本人が安心して生活できるこだわり、定位置管理、物などを取り入れる事によりパニックを軽減。
- ③ 否定だけでなく、本人が理解できる具体的な説明と興味を持たせ様々な学習や経験をさせる大切さ。

IQ領域が軽度の方

- ① 周りからできる事を期待され、そのギャップに苦しむ
- ② 人を疑う事がないため、サギ被害・性被害等、深刻な事案に巻き込まれる事が多い。

午後はパネルディスカッションを行いました。

パネリスト紹介

- ◆池田剛様（NPO ぱーむぼいす理事長）
- ◆湯本晴彦様（春蘭の宿さかえや（渋温泉）社長）
- ◆山本美代子様（山ノ内町手をつなぐ育成会員）
- ◆松本百合子様（山ノ内町手をつなぐ育成会員）

☆ぱーむぼいす☆

主に若者（29歳以下）の不登校や引きこもりの支援、通信制高校との連携、就労支援、自立の為のオーダーメイドプログラムを作成し支援に反映。有休農地を活用した豆の栽培、冬期間は除雪の手伝い等の活動を行う

☆春蘭の宿 さかえや☆

自営の旅館業を通し、就労支援、学習支援、生活改善、保護者教育等を実践。悩みを持つ若者が集い、励まし・補いながら仕事に打ち込む。『一人ひとりが輝く、そして幸せになる』の目標を掲げ、日々取り組む。

☆山ノ内町手をつなぐ会員☆

- ・軽度だからこそ周囲の理解が得られず、就労の厳しさ、サギ被害、親子の葛藤等も多い。だが、現在の職場で12年間頑張る息子を誇りに思う。ツライ時や困った時には育成会が心強い支えになる。（山本氏）
- ・学校の先生に勧められスキー大会に出場した事が自信につながり、現在は世界的な大会へ出場。色々な方との出会いで本人の視野は広がる。（松本氏）

障がいを持つ本人、その家族も様々な問題や不便を抱えて懸命に社会で暮らしている。1人で頑張りがちになるが、困ったときは頼って良いよ、皆で支えるよという気持ちが伝わり、心が軽くなりました。

障がいは不便だが、決して不幸ではない。幸せな人生をおくる事ができると、今を生きる本人や家族これから生まれてくる子に伝えていく事が、手をつなぐ育成会の大切な役割だと感じました。

長野県手をつなぐ育成会研修会 ～中南信会場～

筆者：秋山睦子（中信地区協議会事務局長）

筆者：三原牧子（安曇野市手をつなぐ育成会）

あいさつに立つ中村会長と来賓の安曇野市

市福祉部長・市議会議長

社協会長兼民生児童委員協議会長



開催日：平成27年11月28日（土）

開催地：安曇野市穂高公民館



藤田里子さんの総合司会で
安曇野市手をつなぐ育成会
内山秋男会長の開会あいさ
つで研修会が始まりました

安曇野市から三名の来賓を得て、主催者挨拶を中村会長が行った。「同じような生活のしにくさを持つ仲間と連動し、幅を広げた運動をしていくことが手をつなぐ育成会活動として、重要な課題だ」



講演要旨

講師 五十嵐美智恵氏
「苦しむ心に寄り添う、心のこもったカウンセリング、発達障害・精神疾患の支援サポートを長野市を中心に活動している臨床心理療法士 臨床心理カウンセラー」



障害を持つ人たちの「生きづらさ」はどのように生まれるか？親たちは、子供のため、将来を思って、普通に近づけるために努力をしている。当然のことのようだが、「精神遅滞」を親や地域社会がどのように受け止めるか？

ちょっと努力すればもっとできると思って要求するが、物事が出来ない・理解できない。

本人にとって、「出来ないこと」が「生きづらさ」ではなくて、それを求められ続けることが「生きづらさ」になっていることを理解しよう。本人にとって、安心して、守られていられる場を作ることが必要です。

後半は、自身の背負ってきたいばらの道のりや「障害」への思いから今の活動に至ったことが話されました。



受付と作業所販売風景

大月 崇喜氏 パネリスト紹介
松本養護学校高等部の進路指導主任
*高等部の進路指導
小野澤ハレル氏 *施設での支援ポイント
ドリムワークス 施設長
猿田 久代氏 *親として思うこと
安曇野市手をつなぐ育成会



ディスカッションの概要 司会者中村会長 助言者五十嵐講師

大月崇喜氏 松本養護学校高等部の進路指導について、指導方針、現場実習の様子や、個別移行支援計画の具体例も示しながら、就労へのスムーズな移行を目指していることを説明し、卒業生のアフターフォローにも取り組んでいることを話されました。

小野澤ハレル氏 ドリムワークスでは、「意志の決定支援」に取り組んでおり、言葉だけではなく、スケジュールの提示や写真・画を示して意志確認をする方式など「利用者の笑顔」守るために、チームで支援をしている。終わりに、利用者全員の笑顔をスライドで写して、施設での様子を見せてくれました。

猿田 久代氏 ご子息は就労20年になる。休日の農作業を始め家事を手伝ってくれるので助かっている、が、金銭管理で困ることもあった。この家でずっと暮らし続けさせたいが、先行きに不安を感じている。

平成27年度 長野県補助金事業

1 療育キャンプ 【在宅重度心身障がい児集団療育事業】

東信地区 8月29～30日

長野市 10月3～4日

中信地区10月23～24日

長和町 姫木平(八王子市自然の家)

飯綱アゼリア

生坂村 高津屋森林公園



北信地区10月11～12日
黒姫高原ペンション・ミキハウス

2 自然探勝会【自然探勝会委託事業】

東信地区8月30日(日)

長野市10月 4日(日)

長和町 姫木平 (八王子市

戸隠森林植物園 (森のまなびや)



北信地区10月12日(月)
信濃町 黒姫高原癒しの森

中信地区10月24日(土)
生坂村 高津屋森林公園

北信地区11月 7日(土)
国営アルプス安曇野公園



3 ふれあい支援事業【障がい者ふれあい支援事業】

松川村 9月5日 バス旅行 19名

飯綱町 7月18日 鉄道旅 12名

山ノ内町 12月10日クリスマス会

軽井沢・伊香保

十日町

30名



大町市 7月18日 バス旅行 26名



諏訪

チャレンジながの研修会(身だしなみ)



80名

飯田下伊那 11月21日



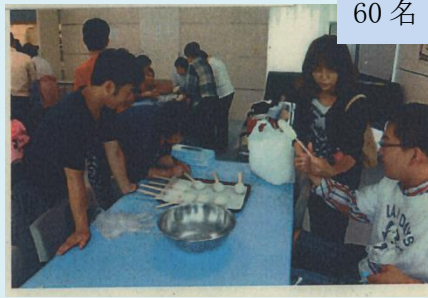
ボウリングと料理 61名

白馬村 12月5日クリスマス会 67名



料理教室

塩尻市 8月30日 箸と五平餅作り



60名

大北 10月24日うどん作り 54名



塩尻市 10月18日黒部観光 43名



塩尻市 12月20日クリスマス会 70名



中信地区 10月4日山梨バス旅行



54名

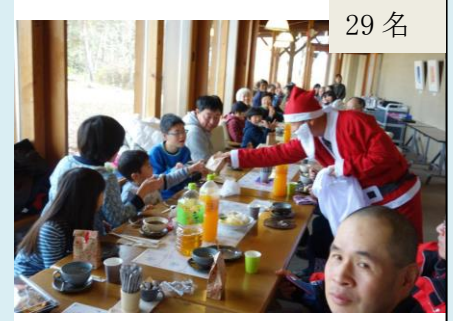
飯山市 10月10日 スポーツ 22名



中野市 10月4日レクリエーション 18名



飯綱町 12月5日クリスマス回



29名

中野市 12月13日 軽スポーツ



東御市 11月7日 30名
スポーツ教室(ボッチャ・その他)
写真を取り損ねました

高齢知的障がい者の地域における豊かな暮らし研究会

長野県知的障害福祉協会では、長野県手をつなぐ育成会も一角に加わって、研究会が組織され、H25年から「高齢知的障害支援の目指すべき姿事例集」翌年は、「同ガイドブック」を発刊(価格1000円)しました。

今年は、高齢知的障がい者の地域における豊かな暮らし研究会を同様の形で立ち上げました。研究課題を「介護保険も使ってさらに良い暮らし」とし、*介護保険のサービス利用は、知的障がい者にも向いているのか？

*介護保険の区分と、総合支援法の区分は？等々、10項目ほど課題が示されて、これらを1年かけて討論され、まとめられたものが本になる予定です。期待しましょう。

(社福)長野県知的障害者育成会に、新規事業が加わりました。

事業所名は「小諸市福祉企業センター」です。平成 27 年 10 月から小諸市からの指定管理事業として経営を始めました。施設長(施設管理者)は、事務長の中島光敏氏が担務しています。

(社福)長野県知的障害者育成会の事業一覧

事業所名	事業種と定員		所在地	記事
ドリームワークス	生活介護 20 名	就労継続B型 10 名	松本市 笹賀	総合福祉法の事業
エルサポートパノラマ (パノパノ・ポノ)	就労移行 6 名	就労継続B型 20 名	松本市 沢村	総合福祉法の事業
	共同生活援助(グループホーム) 11 名			総合福祉法の事業
小諸みかけ	生活介護 7 名	就労継続B型 13 名	小諸市 御影新田	総合福祉法の事業
Lサポート	生活介護 13 名	就労継続B型 18 名	飯田市 東栄町	総合福祉法の事業
久堅農園	共同生活援助(グループホーム) 10 名		飯田市 下久堅	総合福祉法の事業
小諸市福祉企業 センター	就労継続B型 20 名		小諸市 加増	総合福祉法の事業
	生活保護授産 30 名			生活保護法に基づく事業

*すべての事業所で専門員を置いて、相談事業所を運営しています。

須坂市で又村あおい講師による

勉強会がありました。

須坂・小布施・高山手をつなぐ育成会では、12 月 23 日に全国手をつなぐ育成会の又村あおいさんを講師にお迎えして、「障がい者の権利擁護と差別解消法」～虐待防止法と差別解消法を中心に～という内容で講演会を開催しました。当日は手をつなぐ育成会会員だけでなく、他の親の会や支援者、学校関係の方にも多数ご参加いただきました。



又村さんには、難しい法律について、保護者にも大変わかりやすくお話いただきました。いくつかあげるとすれば、

- 1、虐待防止法については、正式名の中に虐待防止だけでなく「障害者の養護者に対する支援等に関する法律」という文言が入っていて、そこをめざしているということ。(まずはそこが大事)
- 2、障害者差別解消のためには、障害のある人の側と、行政・事業者の側が、それぞれの理由や事情があることを知り、建設的対話をしていくことが、必要であること。などです。

講師の方をお願いして講演会を開催するのは、大変なこともあります。親の会として地域啓発のためにもやるべきことですし、又村さんのご協力もあり、いいタイミングで開催できて本当に良かったです。あらためて、手をつなぐ育成会の力を感じられた機会となりました。

(文責:青木みどり)

編集後記

「安」2015年の漢字でした。揮毫した清水寺森貫主は、その訳を「今年ほど安心安全について考えた年はない、安保法制はこれでいいのか？外国のテロや国内での社会情勢や自然災害など命の不安を感じた年だ。来年(平成28年)は、安心で安全な社会を作っていこう。」でした。障害者を始めとする弱者に対する福祉施策は年々後退している感があります。政治に期待をかけるなら、政治にしっかりと目を向けましょう。

(前事務局長 刈間 靖)